

厚生労働省カリキュラム			全国地域生活支援ネットワークカリキュラム		
科目名		内容	科目名	講義名	内容
150	1 強度行動障害がある者の基本的理解	①強度行動障害とは	150	講義 「プロローグ～強度行動障害のある人についての基本的な理解～」 強度行動障害とは(1)	研修の目的・行動障害について
		②強度行動障害と医療			強度行動障害のある人への対応の変遷
210	2 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識	③強度行動障害と制度	210	講義 「私たちのこと知ってほしい～自閉症について～」 強度行動障害とは(2) 講義 「医療と一緒に～医療と福祉の連携～」 強度行動障害と医療	強度行動障害とはどういう状態なのか(定義)
		④構造化			強度行動障害のある人の重症がおかれる現状
		⑤支援の基本的な枠組みと記録			危機管理・緊急時の対応
		⑥虐待防止と身体拘束			危険管理と緊急時の対応
		⑦実践報告			知的障害/自閉症/精神障害とは
					自立支援給付と行動障害 / 他
					構造化の考え方
	構造化の基本と手法				
	構造化に基づく支援のアイデア				
	支援の基本的な枠組み				
	支援の基本的なプロセス				
	アセスメント票と支援の手順書の理解				
	記録方法とチームプレイで仕事をやる大切さ				
	虐待防止法と身体拘束について				
	強度行動障害と虐待				
	児童期における支援の実例				
	成人期における支援の実例				
60	1 基本的な情報収集と記録等の共有	①情報収集とチームプレイの基本	60	演習 「支える仕組み～制度理解のヒント～」 強度行動障害と制度 講義 「ボクらと世界のつながり方～発達を促すことの大切さ～」 構造化 演習 「みんなでやろうよ～チームプレイの大切さ～」 支援の基本的な枠組みと記録 講義 「その時あなたはどうか～虐待・身体拘束・行動制限の予防は支援の質の向上から～」 虐待防止と身体拘束 講義 「支援の現場から～事例紹介～」 実践報告	強度行動障害のある人を支える制度の理解
		②記録とそのまとめ方と情報共有			環境を整えることの大切さ
150	2 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	①固有のコミュニケーション	150	演習 「やりやすくなる～豊かされた環境での活動～」 固有のコミュニケーション	構造化の基礎
		②固有のコミュニケーション			構造化の基本
150	3 行動障害の背景にある特性の理解	①行動障害の背景にあるもの	150	演習 「お互いに共有しよう～記録と情報共有～」 情報収集とチームプレイの基本(2) 演習 「ひとりですぐ～豊かされた環境での活動～」 固有のコミュニケーション	サービス等利用計画と個別支援計画について
		②行動障害の背景にあるもの			サービスの提供プロセス
720	1 基本的な情報収集と記録等の共有	①情報収集とチームプレイの基本	60	演習 「お互いに共有しよう～記録と情報共有～」 情報収集とチームプレイの基本(2)	支援手順書の意義や活用方法
		②記録とそのまとめ方と情報共有			記録の方法とチームプレイの大切さ
150	2 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	①固有のコミュニケーション	150	演習 「やりやすくなる～豊かされた環境での活動～」 固有のコミュニケーション	障害者虐待防止法の理解
		②固有のコミュニケーション			強度行動障害と虐待
150	3 行動障害の背景にある特性の理解	①行動障害の背景にあるもの	150	演習 「私たちの困っていること～感覚の違いを体験しよう～」 行動障害の背景にあるもの(1) 演習 「本日の理由を考えよう～水山モデルで考える～」 行動障害の背景にあるもの(2)	児童期における支援の現場を伝える。
		②行動障害の背景にあるもの			成人期における支援の現場を伝える。
720	1 基本的な情報収集と記録等の共有	①情報収集とチームプレイの基本	60	演習 「お互いに共有しよう～記録と情報共有～」 情報収集とチームプレイの基本(2)	アセスメントとは
		②記録とそのまとめ方と情報共有			アセスメントの具体的な方法
150	2 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	①固有のコミュニケーション	150	演習 「やりやすくなる～豊かされた環境での活動～」 固有のコミュニケーション	記録のやり方やチームでの共有のやり方。
		②固有のコミュニケーション			記録のやり方やチームでの共有のやり方。
150	3 行動障害の背景にある特性の理解	①行動障害の背景にあるもの	150	演習 「私たちの困っていること～感覚の違いを体験しよう～」 行動障害の背景にあるもの(1) 演習 「本日の理由を考えよう～水山モデルで考える～」 行動障害の背景にあるもの(2)	意味の分からない言葉での指示
		②行動障害の背景にあるもの			「視覚と感覚で違う情報」
720	1 基本的な情報収集と記録等の共有	①情報収集とチームプレイの基本	60	演習 「お互いに共有しよう～記録と情報共有～」 情報収集とチームプレイの基本(2)	「分かりにくい指示」
		②記録とそのまとめ方と情報共有			「本人に伝わりやすい環境と活動」
150	2 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	①固有のコミュニケーション	150	演習 「やりやすくなる～豊かされた環境での活動～」 固有のコミュニケーション	「作業(視覚的な手がかりのありなし)」
		②固有のコミュニケーション			「作業(手をはめて)」
150	3 行動障害の背景にある特性の理解	①行動障害の背景にあるもの	150	演習 「私たちの困っていること～感覚の違いを体験しよう～」 行動障害の背景にあるもの(1) 演習 「本日の理由を考えよう～水山モデルで考える～」 行動障害の背景にあるもの(2)	「騒がしい環境での聞き取り」
		②行動障害の背景にあるもの			「狭い視野での活動」
720	1 基本的な情報収集と記録等の共有	①情報収集とチームプレイの基本	60	演習 「お互いに共有しよう～記録と情報共有～」 情報収集とチームプレイの基本(2)	水山モデルを使って行動の理由を考える。
		②記録とそのまとめ方と情報共有			グループ討議/まとめ

780 ※「行動障害のある人の豊かな世界」(10分)「ひとりで悩まないで～ストレスケアの大切さ～」(50分)は独自に加えた内容であるため、研修時間数もその分長くなっています。